

# 埼玉・川越エリアの激戦徹底レポート

## 惣菜編&日配編

城取フードサービス研究所

城取 博幸

### 惣菜部門

#### ロジャース川越店

ロジャースは、今年の4月に改装し、地下1階部分1743㎡に「ドライ食品、菓子」1階部分の2144㎡に「生鮮、チルド、飲料、酒」2階部分1933㎡に「衣料品、雑貨」を配置した大型店です。

惣菜は、第4コーナーにゾーンニング。壁面が揚物、焼物、寿司（巻物）で、2台の平台には弁当、セミ多段ケースに焼きそば、ナポリタン、煮物、サラダが陳列されている。

#### 惣菜は地域最低価格を設定

価格調査表を見て分かるように、惣菜の価格設定はほぼ地域最低価格を設定している。揚物のバラは84円均一、おにぎり77円、にぎり寿司8カン398円、特に目を引くのが、弁当198円、焼きそば103円、スパゲッティ103円だ。これは他企業では出せない価格だ。

#### 198円弁当、103円焼きそば、スパゲッティの内容

ムリすればアウトパック商品で品揃え可能であるが、ロジャースの惣菜はあえてインストアで製造しているのが特徴。品揃え型ではなく、単品大量販売型で売れ筋商品に絞り込み低価格で販売する戦略。ロスの出やすい冷し中華やザルそばなどの「調理麺」は最初から品揃えされていない。

気になる点は、価格が安い割には売場が少しおとなしい。もう少し陳列量を増やして陳列量で圧倒してもよいと感じる。

#### エビフライ弁当 198円

揚物中心の弁当であるが、揚物とエビフライが2本入っている。その他きんぴらごぼうと漬物、ごはんとで198円は安い。ごはんの味も悪くない。



### スパゲッティ ナポリタン 103円

乾燥パスタをインスタで茹でてパスタソースで味付けしたもの。スライスされたウィンナーも入っている。ローソン100顔負けの商品だ。パスタも伸びすぎてなく麺がしっかりしている。



### 焼きそば 103円

焼きそばもインスタ製造商品。青のり、紅生姜がトッピングされている。大量生産の割には水っぽくなく麺の剥がれも良い。



## 生鮮市場TOP川越店

### 売場の特徴

#### 「角上魚類」と「直営惣菜」のダブル効果

昨年11月のオープンした新店。直営部分は第2コーナーと第3コーナーの真ん中の壁面とアイランドケース3台で展開。惣菜は「角上魚類」と「直営惣菜」のダブル効果を狙っている。角上魚類の寿司、惣菜と直営の寿司、惣菜は、品揃え、価格を変えてバッティングしないようにしている。直営のにぎり寿司（にぎり8カン+細巻き+卵焼き）498円、角上魚類のにぎり寿司8カンは800円からとなっていて、品揃えの幅を広げている。冷蔵ケースのサラダやサンドイッチの品揃えも充実している。

気になる点は、直営惣菜の壁面の寿司コーナーが少し窮屈な感じがする。角上魚類の寿司コーナーに比べて少し迫力不足を感じる。売場スペースを拡大して、低価格にぎり、巻物、いなり、チラシ寿司などの品揃えを増やしたり、バラ販売などを行ったらどうか。

#### 川越焼きそば 298円

川越地区の「御当地焼きそば」。液体ソースと麺との味のバランスがよい。ボリュームも十分である。「ソース焼きそば」は価格競争に巻き込まれているが、「御当地焼きそば」は独自性が出せる商品。



#### いか焼き 298円

インスタ製造の「いか焼き」。これも十分ボリュームがある。



## やみつき甘辛ごぼう 248円

夏の定番メニューである「甘辛ごぼう」。トレーに溢れるほどのボリュームで248円は安く感じる。確かに「やみつき」になる味の商品だ。



## ベルクの場店

川越、西川越地区に客が流れをくい止めるよう店内改装を行ったベルク。

惣菜売場の場所や商品はあまり大きく変わらないが、変わった部分は、揚物、天ぷらなどのバラ販売が動線の頭にきている点だ。

ベルクの店舗入口には、「Low Price Better Quality」と書かれている。

「並品質、低価格」ではなく、「ベター品質、低価格」を強調しているのが、他の「コモディティ型店舗」とは異なる。

## 「既存の商品を磨き上げる」のがベルクの惣菜の特徴

どの商品を見ても商品作りが丁寧である。アウトパックの商品でも見栄えが他社の商品に比べてよい。例え低価格商品であっても手は抜かない。

## 和ごころ弁当 298円

アウトパックの298円の低価格弁当であるが、炊き込みご飯、煮物、半熟卵、肉団子の和風弁当。高級感のあるトレーやカラーカップを使い丁寧に盛り付けられている。



## 「ベルくにぎり寿司」と「ヤオコーにぎり寿司」のビジュアル比較

ベルクのにぎり寿司698円、ヤオコーのにぎり寿司698円（広告の品）を

比較した。寿司ネタは個人によって好みは分かれるが、ビジュアル的にはベルクはイカの帯は「大葉」、焼きサーモンには「生姜ネギ」、マグロスキ身は「刻みネギ」がトッピングされグリーンを使い「鮮度感」を強調している。

一方、ヤオコーの寿司は、ズワイガニ、甘エビ、アナゴ、タマゴに海苔の帯で黒色が目立つが、「ズワイガニ」「広告の品」の赤色のシールで赤を強調しているため、暗さは目立たない。トレーはヤオコーの方がブルーを使い「清涼感」を強調している。どちらを選ぶかは客が決めることで、商品をうんぬん言うつもりはないが、競合店の商品と自店の商品を常に比較検討し良い部分は取り入れることが大切である。

### ベルクにぎり寿司 698円



(ベルクフォルテ深谷店にて購入)

### ヤオコーにぎり寿司 698円



(ヤオコー深谷上野台店にて購入)

\* 寿司の写真は21日に商業界に持参します。

### ヤオコー川越的場店

ヤオコー的場店も定期的に視察して売場、商品の変化を見ている。惣菜売場を

見た感じは、競合店が出て、商品を丁寧作りレベルは落ちていない。

### 細巻きの商品づくりは見事

しっかりと商品をつくることは、ヤオコーもベルクも変わらない。特に、ヤオコーの細巻きの「鉄火巻」「マグロすき身」のカット面は、個々の幅が一定になっているのは見事。マグロの鮮度もよい。

### 「焼き魚」「グリル商品」を強化

競合する TOP が、「角上魚類の寿司、惣菜」を導入しているため、「魚惣菜」に力を入れ始めている。「焼き魚」や「緑黄色野菜と海老のバジル焼き」や「二層仕立て いわしつみれ南蛮」など家庭ではなかなか出来ない商品を提供している。

少し気になる点は、惣菜前の、「惣菜と日配品のコラボ売場」だ。アイランドケースのサラダ売場は、ダミーやガーラントを使いゆったりとしているのに対し、多段ケースは窮屈になっている。せっかく商品開発した「チルドのレディ・ミール」も目立たない。「涼味麺」は日配商品と、惣菜商品との売場が分散してしまい迫りに欠ける。コラボ売場3台を見直した方がよいと思います。

### 緑黄色野菜と海老のバジル焼き 398円

大きなむき海老とじゃが芋、ブロッコリー、人参をバジルソースで焼いた洋風メニュー。彩りもよい。



### 二層仕立て いわしつみれ南蛮 298円

イワシのつみれに南蛮ダレをかけたもの。白髪ねぎもたっぷりかけてある。



まとめとして、ロチャース川越店は、売れ筋の弁当、麺類、揚物バラを他社が追随できない地域最低価格で量販。生鮮市場TOP川越店は、「角上魚類」とのコラボで、幅広い品揃え、価格で幅広い客層を狙う。ベルクの場店は基本商品を徹底的に磨き上げる。ヤオコー的場店は提案型の売場と新商品を提供するなど、それぞれ特徴がある。どこも甲乙つけがたい。甲乙つけるのはお客である。

### 惣菜の主力商品の最低価格

	ロヂャース 川越店	生鮮市場 TOP川越店	ベルク 的場店	ヤオコー 川越的場店
肉コロッケ	1個 84円	1個 98円	1個 99円	1個 100円
豚ロースとんかつ	1枚 260円	1枚 298円	1枚 298円	1枚 368円
野菜かき揚げ	1枚 84円	1枚 98円	1枚 99円	1枚 100円
鶏唐揚げ(最低価格)	1パック 176円	1パック 245円	1パック(立田揚げ) 156円	1パック 170円
おにぎり	1個 77円	1個 98円	1個 99円	1個 100円
弁当	1パック 198円	1パック 398円	1パック 298円	1パック 398円
いなり寿司	3個 120円	3個 178円	3個(99円セール) 99円	2個 100円
にぎり寿司	8カン 398円	8カン+細巻、卵 498円	8カン 498円	8カン 498円
冷し中華		1パック 298円	1パック 398円	1パック 398円
ポテトサラダ 小	1パック 138円	1パック 160円	1パック 141円	1パック 165円
ひじき煮 小	1パック 150円	1パック 198円	1パック 146円	1パック 148円

## 日配部門

### ロチャース川越店

#### 日配品売場は最大規模

日配部門の売場レイアウトは、入口青果コーナー付き当りに豆腐、揚げ、納豆、右側にこんにゃく、中華の具などの調理品、煮豆、佃煮、漬物を配置。奥まった鮮魚コーナーの近くに練製品を配置して、生鮮食品との関連性を高めた売場だ。洋日配は第3コーナー突き当りのマグネットに牛乳、飲料を配置している。店の特徴は、「低価格コモディティ型」であり買いやすい売場である。

#### 「ロングライフ商品」で売場拡大しロスの削減

日配品売場の特徴は、冷蔵平ケースが非常に広いことだ。しかし、そこに並ぶ商品は、比較的賞味期限の長い商品。ロジャースの日配部門の特徴は、売場が広がっても、賞味期限の短いロスが多く発生する商品はあまり拡大しないことだ。漬物売場の「浅漬け」は縮小、麺コーナーでは「調理麺」の品揃えはない。チルドデザートコーナーも「フレッシュデザート」は品揃えされていない。大型店の割には、パンコーナーも狭く、ロングライフのパンなども品揃えしている。この辺の割り切りははっきりしている。

少し気になる点は、大型店の割には冷凍食品、アイスクリームの売場が狭いような気がする。各店冷凍食品の品揃えが拡大されているだけに、売場は2倍～3倍あってもいいように感じる。

### 気になった商品

#### 野菜と炒めて 168円

九州では良く見かける「ちゃんぽんの具」や「焼きそばの具」の類似商品。ちくわとかまぼこのスライスで、野菜と炒めるだけの商品。焼きそばやちゃんぽんにも使える便利な商品。



## 天然酵母パン（メロン、メープル） 93円

直営のパン売場のロングライフ、天然酵母を使ったパン。普通の商品を安く売るだけでなく、特徴ある商品を低価格で販売する。しかもロングライフという特徴も加えられている。



## 103円均一パン

インスタベーカリーは「店内全品103円均一」で販売。約50アイテムを品揃えしている。安いだけでなくボリュームもある。



## 生鮮市場TOP川越店

### 売場の特徴

昨年11月のオープンした新店。生鮮売場に「角上魚類」が入っているのが特徴。店のレイアウトは、長方形のシンプルで分かり易い売場。和日配を青果売場の反対側に一直線に配置。レイアウトは納豆、豆腐、漬物、中華、通路を挟んで、麺類、こんにゃく、練製品に順で、売場が分散していないため、どこに何があるか動線に従えばすぐに分かる。

洋日配は、第3コーナーと第4コーナーの間の壁面に牛乳、飲料、チルドデザートを配置。反対側のアイランドケースのコンコース側には、ピザ、チーズ、

バター、マーガリンなどの乳製品、ヨーグルト類、カップ飲料は中通路に入れるという、ヨーグルトより乳製品に注力したいという思い切ったレイアウト。インスタアベーカーリーは、105円の商品を拡大している。

### 洋日配は「コモディティ」＋「食提案型」の品揃え

和日配は「コモディティ」中心の品揃えであるのに対し、洋日配の乳製品とピザ、スープは「提案型」の品揃えをしている。エンド部分にナチュラルチーズ、その隣のプロセスチーズの間に「ドライフルーツ」のコーナーをはめ込んでい。「ワイン＋チーズ＋ドライフルーツ」を提案している売場。スーパーマーケットではなかなか品揃えされていない「デーツ（ナツメヤシ）」などの高級品も品揃えされ目を引く。

価格は、ロジャースを意識してか、そこを下回る価格設定をしている商品も多い。ロジャース側も「競合店対策」などのPOPを付けて対抗している。

少し気になるのは、チルドデザートとヨーグルトが離れてしまっていること、内側のヨーグルト売場の反対側が、ペット飲料であることからチルド飲料を中通路に配置した方が、まとまりがよくなるような気がする。

### 乾燥デーツ 680円

ナツメヤシの砂糖漬け。高額品ではあるが、ワイン通には欠かせない商品。種あるので注意して食べたい。味は濃厚である。



### 乾燥イチジク 398円

デーツの隣には「乾燥イチジク」「乾燥プルーン」「軸付き干しブドウ」が品揃えされている。デーツの効果か「乾燥イチジク」の在庫が減っている。

「はちみつ」や「柑橘系のジャム」などチーズにあう商品があればさらにうれしい。



### ポーションチーズ 各98円

ナチュラルチーズコーナーの98円ポーションチーズ。価格は値頃であるため、2つ、3つと買ってしまふ。



### ベルクの場店

ベルクの場店とヤオコー的場店は、定期的に視察してその変化を見ている。ロジャース、TOP 対策をどう行っているか。ベルクの日配品売場は、改装と大幅な陳列変えを行った。

### 大幅な売場変更と「冷凍食品」の拡大

ベルクの日配品売場の大きな特徴は、「冷凍食品売場」を拡大したことだ。リーチインケースを両側に配置して、その中心に以前からの冷凍平ケースを配置。冷蔵平ケースを背面のリーチインケースに改装することも可能だが、あえて売場を拡大して冷凍平ケースは残した。その背景には、将来、まだ冷凍食品が伸びるであろうことから、今から床スペースを確保したのではないかと見た。前回触れたイオンの「冷凍レディ・ミール」のコーナーもでき、15アイテム程を品揃えしている。「生姜焼き弁当」や「さば弁当」などの在庫が減っていた。冷凍食品の拡大で、牛乳、飲料とチルドデザート、ヨーグルトが通路の両側になり買いやすくなった。乳製品もパンの近くになり、卵も買いやすい位置にな

った。納豆は以前の場所に戻り、第3コーナーは中華コーナーとなった。日配部門は買いやすい売場となった。「ゆでうどん」は、関西と同じようにケース最下段で38円で販売。季節商品の「梅干」は惣菜売場前の平台で198円で大陳。

少し気になる点は、店のレイアウトを頻繁に変更することは、中高年にとっては、「せっかく売場を覚えたのにまた変更？」と少し不満を感じるのではないかと心配がある。レイアウトを固定して、しばらくの間は動かさないことも必要ではないでしょうか。

### 気になった商品

おつまみたまご（燻製、味噌味、にんにく醤油） 各88円

たまごの加工品3種類を88円で提供。おつまみだけでなく、涼味麺や中華料理にも使える便利な商品。「燻製ウズラ卵」があればなおうれしい。



たまごご飯 1袋 148円

北海道産 鮭の醤油を使った、たまごご飯用の具入りの調味料。

「たまごかけご飯」をより豊かにと提案する商品。キャップ付きであるため保存もしやすい。



## 冷しカレーうどんの素 158円

冷しうどんのかけるだけの「冷しカレーうどん」。鶏肉や玉ねぎも入っている。「流水麺」+「冷しカレーうどん」で暑い時に火を使わず、簡単に涼味麺ができる。



## ヤオコー川越的場店

### 売場の特徴

ヤオコー的場店も定店視察を行っているが、「提案型、ミール・ソリューション型」のコンセプトは変わらない。季節商品、新商品も多く導入されているため、客も珍しい商品を手にとって確認している。品揃えが多いため、滞店時間が長いように感じる。とにかく楽しい売場である。

### さらなる品揃えの拡大

「新しい食生活の提案」を貪欲に追求しているように感じる。今回は、「チルドのフェットチーネ 4食入 298円」や「冷凍 ハワイアンパンケーキ、フォンダンショコラ」、季節商品である「浅漬けらっきょう 278円」に注目。「フェットチーネ 298円」は、ドライ、チルド、冷凍の3温度帯の品揃え。「生うどん」があるように「生パスタ」も今後売れるはずだ。青果売場に生の「青梅」「らっきょう」が出始めれば、「梅干」「らっきょう漬け」が良く売れる。「冷凍ハワイアンパンケーキ」は、冷凍平ケースで「冷凍マンゴ」「冷凍ブルーベリー」を158円で関連販売も提案型の販売の仕方だ。

少し気になることは、チーズ売場の前の「ビン入 ディップ」の段ボール直置陳列。「もし、カートがぶつかったら」と少し心配になる。アラを探すつもりはないが、ビンものの陳列は「安全管理上」からルールを作った方が良いと思います。

**生パスタ フェットチーネ 4食 298円**

チルドパスタのフェットチーネ 4食入りで298円は、1食当りで計算すると、関東のゆでうどんの価格と変わらない。モチモチ感は乾燥パスタには出せない。



**浅漬けらっきょう 278円**

宮崎県産の新物のらっきょうの浅漬け。古漬けと違い薄味で甘くなくらっきょうの味がしっかりする。季節を感じさせる商品。試食が欲しかった。



**たっぷりカレンス 378円**

ヤオコーのホールセールのパンコーナーの商品。価格は少し張るが、干しぶどうの量がとにかく多く満足感がある。こうした商品がファンを獲得している。



### 冷凍ハワイアン パンケーキ 10枚入

10枚入りの小型パンケーキ。必要な量だけ使えるのが冷凍食品のメリット。パンケーキは、メープルシロップやはちみつ、ジャム、フルーツソース、ホイップバターなど関連商品が多いため、本体を売り込めば、販連商品がよく売れる。



まとめとして、ロチャース川越店は、4店舗中最大規模の日配売場を確保し、コモディティ商品中心に低価格で販売。ロスが多く発生する商品の品揃えを極力避けてロングライフ商品に注力している。ロス分を価格に反映させている。生鮮市場TOP川越店は、コモディティ型ではあるが、洋日配は提案型を少しプラスした品揃えと、「地元自慢名品」のコーナーで地産地消をアピール。ベルクの場店もコモディティ型ではあるが、冷凍食品や「おかずコーナー」などでミール・ソリューションを少しプラスした。ヤオコー川越的場店は、提案型、ミール・ソリューション型の売場で、新商品を導入して楽しい売場を作っているのが特徴。どこを選ぶかはお客が決めることであるが、各社コンセプトがはっきりしている。

### 日配の主力商品の最低価格

	ロヂャース 川越店	生鮮市場 TOP川越店	ベルク 的場店	ヤオコー 川越的場店
豆腐	300g 35円	400g 58円	300g 38円	300g 39円
納豆 三段重ね	50円	66円	58円	59円
ゆでうどん 1食	25円	25円	38円	38円
焼きそば 3食	97円	88円	98円	99円
生ちくわ 4本	75円	55円	78円	78円
白菜漬け 1袋	98円	128円	158円	188円
牛乳 無調整 1ℓ	155円	147円	147円	158円
プレーンヨーグルト	124円	98円	98円	99円
食パン 6枚入り	114円	101円	88円	88円
卵 10個入り	98円	178円	178円	188円
冷凍枝豆	400g 158円	400g 128円	400g 128円	300g 158円